

テレマティクス技術を活用した新商品『ささえる NAVI』を開発！ ～フリート契約者向けテレマティクスサービスで富士通株式会社と協業～

2016年2月9日

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(代表取締役社長：鈴木 久仁、本社：東京都渋谷区、以下「当社」)は、自動車保険フリート契約者^{※1}向け新商品「ささえる NAVI」を開発、本商品の展開において、富士通株式会社(代表取締役社長：田中 達也、本社：東京都港区、以下「富士通」)とテレマティクス^{※2}サービスで協業することに合意しました。

本商品は、富士通の位置情報を活用したクラウドサービス「SPATIOWL^{※3}」をベースとした安全運転支援サービスと、富士通テン株式会社(代表取締役社長：山中 明、本社：兵庫県神戸市、以下「富士通テン」)の高精度なクラウド対応通信型業務用ドライブレコーダー、および当社による安全運転コンサルティングサービスを融合した商品で、最先端のテレマティクス技術の活用により、企業の自動車リスクに対して更なる安心・安全を提供します。

※1：所有・使用する自動車が10台以上のご契約者

※2：テレマティクスとは、「テレコミュニケーション(通信)」と「インフォマティクス(情報工学)」を組み合わせた造語。カーナビやGPS等の車載機と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み。

※3：時間と位置情報を活用した富士通のクラウドサービス

1. 商品開発の背景について

テレマティクス技術の進展により、自動車の走行データを活用した様々な商品やサービスの提供が可能となり、クルマを取り巻く環境が大きく変化しています。

政府においては、自動車のテレマティクス技術を活用した自動車保険を通じた事故削減をテーマとして掲げており、自動車メーカーやIT企業による技術開発競争が活発化しています。

当社では、安心・安全なクルマ社会の実現に貢献すべく、2015年4月より、最先端のテレマティクス技術と融合した先進的・合理的な自動車保険「つながる自動車保険」を個人のお客さま向けに発売しています。

今般、企業のお客さまに対しても自動車保険を通じた安心・安全を提供するため、本商品を開発、販売することとしました。

2. 「ささえるNAVI」の概要について

本商品は、富士通テンのクラウド対応通信型業務用ドライブレコーダーを活用した富士通の安全運転支援サービスおよび本サービスを活用した当社による安全運転コンサルティングサービスを融合した商品です。

(1) サービスの内容(詳細は別紙ご参照)

①安全運転支援機能

○安全運転診断	車両のふらつきや前方車両との距離、急ハンドルなど、ドライバー一人一人の運転特性データを基に運転状況を診断し、診断結果の表示や、診断結果に基づいた指導書の自動作成・印刷が可能
○ランキング表示	運転状況を点数化し、個人別または組織別でランキング表示が可能
○危険運転指導	危険運転が行われた際、その前後の画像や速度など、運転状況に関する詳細な情報を指導書として作成することが可能

②リアルタイム動態管理機能

○動態管理	車両の位置や動態、および走行軌跡を、地図上でリアルタイムに把握可能。また、急加速・急減速などの危険運転や事故の発生もリアルタイムに把握可能
○事故通知	衝突などによって一定の衝撃を検知した際、運行管理者の PC にリアルタイム通知が可能
○ドライバーに対する各種通知機能	速度超過通知、急加速/急減速通知、急ハンドル通知など、ドライバーに対して注意を促したい内容について詳細に設定し、タイミングよく通知を行うことで安全運転を支援

(2) 対象契約者

当社の自動車保険フリート契約にご加入のお客さま

(3) 保険料割引の適用

本商品が導入されたフリート契約者の自動車保険料に対して、6%の割引を適用します。

(4) 実施時期

2016年4月1日始期契約より開始

(5) サービス利用料

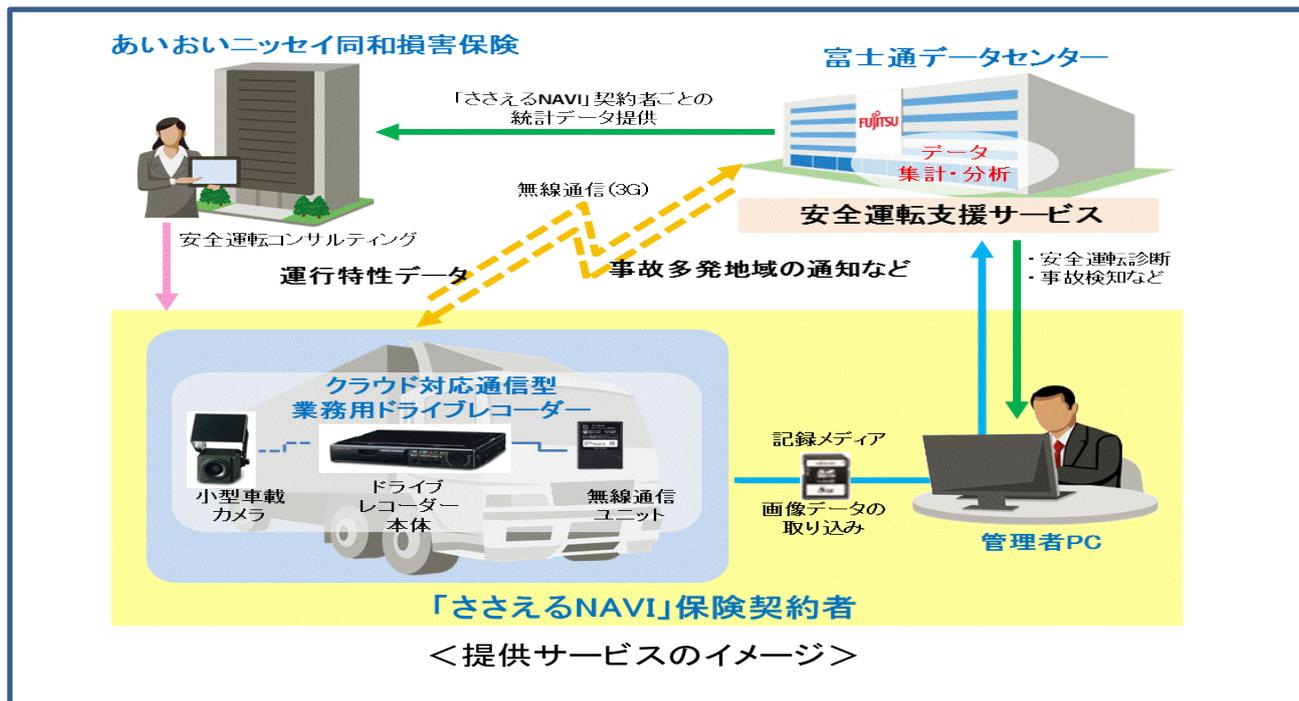
お客さまは、本サービスに伴う費用（車載器利用等）を富士通にお支払します。

3. 今後の展開について

当社は、本商品の展開を契機として、富士通との協業を通じて得られる知見を生かし、テレマティクスとビッグデータ解析などを融合させた先進技術に基づく商品・サービスの開発に取り組むことにより、企業の安全運転支援を始めとした安心・安全な道路交通社会の実現に貢献していきます。

以 上

富士通 テレマティクスサービスの概要



1. 安全運転支援機能

(1)安全運転診断

車両のふらつきや前方車両との距離、急ハンドルなど、ドライバー一人一人の運転特性データを基に運転状況を診断し、診断結果の表示や、診断結果に基づいた指導書の自動作成・印刷が可能です。管理者は、診断結果を活用し、運転スキルの診断や安全運転計画の立案、実績との比較ができます。

(2)ランキング表示

運転状況を点数化し、個人別または組織別でランキング表示が可能です。日々の運転状況について、同僚ドライバー間で比較し合うことで、安全運転に対する意識を高めることができます。

(3)危険運転指導

危険運転が行われた際、その前後の画像や速度など、運転状況に関する詳細な情報を指導書として作成することができるため、より具体的な安全運転指導が可能になります。

<安全運転診断>



<ランキング表示>



<危険運転指導書>



2. リアルタイム動態管理機能

(1) 動態管理

車両の位置や動態、および走行軌跡を、地図上でリアルタイムに把握できます。また、急加速・急減速などの危険運転や事故の発生もリアルタイムに把握できるため、ドライバーに対して迅速に的確な指示を出すことが可能になります。

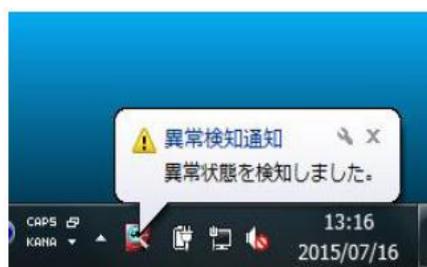
(2) 事故通知

衝突などによって一定の衝撃を検知した際、運行管理者の PC にリアルタイム通知が可能です。

<動態管理>



<事故通知>



(3) ドライバーに対する各種通知機能

速度超過通知、急加速/急減速通知、急ハンドル通知など、ドライバーに対して注意を促したい内容について詳細に設定し、タイミングよく通知を行うことで安全運転を支援します。これらの違反情報を記録として蓄積することで、後日の安全運転教育に活用することも可能です。

3. 提供価格

月額料金（ドライブレコーダーリース料+安全運転支援サービス料）：1台あたり 2,200円（税抜き）より

（7年リース契約の場合。初期導入費用、保守料金は別途要します。）

以上